　　　飯　能　班

飯能市校長会は、小学校１２校、中学校７校の１９校で組織されている。学校規模は市街地の中規模校と山間部の小規模校に二極化された構成になっており、昨年度末には生徒数が全校で５０名以下の学校が小学校2校、中学校2校となった。

市教育行政の基本理念「新たな時代を 豊かな学びで創る 飯能教育」の下、合言葉「挑戦・創造」を掲げ、学びの改革を推進している。

１　主な活動状況

本会は、「学校教育に課せられた責務と市民の期待を深く認識し、学び実践する校長会として、生きる力の育成と特色ある学校づくりを推進し、もって市民の信託に応える。」を活動方針とし、市教育委員会との連携のもと、月例で研修を実施している。本年度の研修内容は次の通りである。

・5/23教育長講話（中村 力 教育長）

・6/20講演「私たちをつつむもの」（松原恒也氏）

・7/11講義「ヤングケアラーについて」

（飯能市子育て支援課長 須田あゆみ 氏）

・7/25校長･教頭合同研修会

「県学力・学習状況調査活用について」

（県教育局義務教育指導課学力調査担当）

・10/17研究発表校の取組について（各校長）

・11/21講演「学びの多様化と地域の学校」

　　　（わせがく夢育高等学校長 岩澤 正明 氏）

・12/16講演「これからのPTAについて」

　 （飯能第一中学校PTA副会長 河野 栄一 氏）

・1/16講演「管理職のストレスと睡眠」

（ヤクルト埼玉西販売 橋本 周治 氏）

・2/13講演「新型コロナ時代の学校改革」

（東京大学名誉教授 佐藤 学 氏）

２　各対策部の活動

（１）学校運営研究部

研修会の企画・運営及び研修内容や情報交換

　　のとりまとめを行い、講師の派遣依頼や場所・

日程等を調整する。

（２）渉外部

教育環境の整備・充実を目指して、市当局及

　　び教育委員会との連携を強化している。

（３）厚生部

　　　管理職としての見聞を広め、かつ会員相互

　　の親睦を深めるための活動の企画・運営を行

う。

報告者　馬場　治男（南高麗中）